

平成 27 年 12 月期 第 3 四半期決算説明会 質疑応答の要約

2015 年 10 月 30 日（金）に開催した、平成 27 年 12 月期 第 3 四半期決算説明会において、出席者の皆さまから頂いた質問をまとめたものです。弊社代表取締役会長兼社長 グループ代表の熊谷より回答させていただきました。

Q 今期は株式売却益もあり大きな配当となっているが、来期は会計基準の変更もあり、このまま行くと減配となってしまうと思うのだが、株主還元・配当についてどう考えているのか？

A ご指摘の通り、会計基準の変更により子会社株式の売却益が最終益に反映されなくなるため、減配の可能性はたしかにあります。営業利益を伸ばして増配を目指す、というのが基本的な考えになります。（熊谷）

Q 15 年のガイダンスについて、3Q までの進捗が良かったのにもかかわらず、営業・経常利益段階で上方修正を行なわなかったが、追加投資を考えているのか？

A 決算説明会資料でもお話をさせていただいたとおり、4Q では minne に 7 億、ゲームに 2 億の追加投資を見込んでいます。ガイダンスは必ずお守りすることを前提に、大きく上振れた場合には来期の成長に直結するものへ投資をし、来期以降の成長角度を上げて行きたいと考えています。（熊谷）

Q 大和証券グループ本社との取り組みについて、どのように win-win の関係を築いていこうとしているのか？

A 詳細は追ってご報告させていただきますが、強いところを活かし合うのが大事だと考えています。当社グループの強みは FX における技術力であり、大和証券さまの FX 部門の運用をさせていただいたり、また、投資信託やリサーチ部門は当社が得意としているところではないため、大和証券さまのプロダクトを当社のお客さまに展開したりということが考えられるのではないのでしょうか。将来的には証券部門での連携も検討できればと考えています。（熊谷）

Q GMO クリック証券が証券部門を強化するタイミングはいつになりそうなのか？ それと大和証券グループの株式追加取得とはリンクするものなのか？

A お相手のある話であり、なんとも申し上げられないが、提携の実績が出てくれば追加取得を行ない、加速させたいと考えるのではないのでしょうか。（熊谷）
